

各団体の総会

最適な資源化 技術を提案

泥土リサイクル協会

泥土リサイクル協会

(木村孟理事長)は23日、16年度定時総会を名古屋市中区のANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋で開き、16年度事業計画などを承認した。

冒頭、木村理事長は「20年の東京オリンピック・パラリンピックに向

け、大型インフラ工事などが進む。ただ、そうした中で、大切なのは環境に与える負荷をいかに少なくできるかだ。当協会

は建設廃棄物が潜在的に持つ固有の性状を把握して、最適な資源化技術などを提案している。コストにも配慮している。ゼ



トにも配慮している。ゼン、気軽に相談していただきたい」とあいさつし

た写真。

議事では15年度事業報告・決算、16年度事業計

画・収支予算を審議し、

全会一致で承認した。本

年度事業計画は▽泥土リ

サイクルの促進▽先駆的

な環境ビジネスの推進▽

大規模地震の備えーの3

項目が柱。このうち、先

駆的な環境ビジネスの推

進では昨年度に発足した

「全国石膏ボードリサイ

クル協議会」を通じて、

石こう粉を固化材として

利活用するためのガイド

ライン策定に向けた基礎

情報などを整理する。